

美幌医師会

工藤 康生 先生



本年4月の美幌医師会定時総会にて、4期務められました前会長の平間道昭先生の後任として工藤康生先生が満場一致で新会長に選出されました。

工藤先生は北里大学消化器外科講師を退任され、平成6年に美幌町内に消化器科・外科を中心に開業されました。消化器科専門医として町内開業医の中心的役割をなされ、美幌医師会では、理事、副会長等の要職を歴任し前平間会長の右腕として、竹を割ったようなご性格上その行動力を遺憾なく発揮され、その手腕を高く評価されこのたび新会長に推挙されました。

先生は筋肉質の大柄な体格通りのサバサバした面

と、繊細な気配りができるという両面を併せ持ち、そのお人柄は全会員に慕われております。また健康面にも大変気を使われ早朝のウォーキングは欠かさず、大好きなゴルフはハンディキャップ8とプロ並みの腕前です。

医師会長に就任されてからは、従来の理事会から拡大理事会へと会議参加メンバーを拡大するなど、より広範囲にわたる医師会会員の意見を取り入れるよう改正し、また、新制度である後期高齢者医療や特定健康診断の対処法等自ら率先して調べられ、会員に道標を提示して下さるなどリーダーとしての指導力を発揮されております。

政府の医療費削減政策により医療不景気といわれるこの時代に会長に就任され、激務のため、ゴルフプレーもままならないとは思いますが、どうか健康に留意されながら全会員の先頭に立たれ、ご活躍されますようご期待申し上げます。

北海道医報通信員

美幌医師会理事 田島 慎哉

報告

高橋知事 来訪

去る7月3日、高橋はるみ北海道知事が高橋保健福祉部長とともに来所され、長瀬会長、三宅・宮本・畑副会長が応接した。

知事は、日頃からの保健・医療・福祉行政への協力に謝辞を述べられ、特にこのたびの「北海道洞爺湖サミット」にかかわる現地および札幌地区での救急体制の構築と、本誌7月号附録でお知らせした「緊急臨時的医師派遣事業」について深い感謝を表された。

医師派遣については、昨年知事選において公約に掲げて当選。本年2月に予算化、20年度道政執行方針演説でもこの事業を強調されていた。



当会では、道の相当数の委員会・審議会等に役員が分担して参画している。北海道の地域医療の充実のため、今後とも積極的に意見具申してまいりたい。

今回の訪問は知事からのお申し出によるものであった。ご多忙の中、わざわざのお越しに御礼申し上げます。次第である。